

# 自然の家だより

平成27年  
1月17日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地  
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email: gishizen@he.mirai.ne.jp URL: http://www.mirai.ne.jp/gishizen/

まもなく二十四節気でいうところの「大寒」を迎えます。一年で最も寒いといわれるこの時期、周辺で見られる落葉樹の多くは実を落としてしまいましたが、同じ落葉樹でもメタセコイアやハンノキには、まだまだたくさんの実がついています。



メタセコイアの実



ハンノキの実

なぜこの時期も実をつけているのでしょうか？



この答えは、どうやら実やその中にある種のしくみに関係があるようです。

実には種の入ったすき間がいくつもあり、そのすき間は乾燥すると開きます。つまり、実が乾燥すると種がこぼれ落ちるといわけです。一方、こぼれ落ちた種には翼と呼ばれる部分があって、風に乗って遠くに運ばれるようなくみになっています。

こうしたしくみをもったメタセコイアやハンノキにとって、真冬の乾燥した空気や強い風は、子孫を残すためのよい条件となるでしょう。



メタセコイアの実と種



ハンノキの実と種

最後にクイズをひとつ出しますね！



右の写真は、メタセコイアの全体の様子（樹形）ですが、赤線が一本ひいてあります。

さて、クイズです。メタセコイアの実は、赤線より上のほうに実がたくさんついているでしょうか？それとも、下のほうに実がたくさんついているでしょうか？

みなさん、考えてみてくださいね！

【ヒント】風に種を遠くまで運んでもらうには・・・

【答え】来月号の右下を見てね！

